

管理事務所からのお知らせ

近年にないような暖冬が終わって春になってみると、今度は寒い日が続いて、4月に入ってから何度か雪が降りました。5月、6月も気温はやや低めで、入梅は平年より6日遅れて6月14日でした。今年もすでに各地で落雷による事故が発生しています。ゴルフ場・グラウンド・屋外プールなど開けた場所や高い木のそば、森のなかなどはとくに危険です。遠くでゴロゴロと聞こえたら、速やかに自動車や安全な建物のなかに避難しましょう。

◎ 給湯器・家電品の落雷対策

近くで雷が鳴り始めたら、給湯器と家電品のコンセントをすべて抜いてください。至近距離で落雷が発生している最中は、なるべくプレーカーを落として雷が止むのを待ちます。TV本体から外部アンテナの接続コードを、電話機やコンピュータからは電話線はずします。100パーセント確実な落雷対策はありませんが、以上のことをおこなえば、おおむね安心と言えるでしょう。

◎ 粗大ゴミ

この欄で繰り返しお知らせしているとおり、粗大ゴミはゴミ収集ステーションにお出しになっても回収してもらえません。粗大ゴミの処分の方法等についてご不明な場合には管理事務所にお問合せください。

◎ 深夜の騒音はたいへん迷惑です

夏場は日没後も屋外で過ごされる方も多くいらっしゃると思いますが、とくに夜遅くなってからの大声や花火等、騒音でほかの皆様のご迷惑となることはご遠慮ください。すべての方が気持ちよく過ごせるよう、マナーを守って、わたしたちの白笹の快適な環境づくりへのご配慮・ご協力をよろしくお願いいたします。

◎ 伐採・整地勧誘の電話に注意

前号の「Q&A」でも取り上げましたが、最近、ある業者からオーナーの皆様のところへ、「伐採と整地をすれば、白笹の土地を買う人がいます」との電話がかかっているようです。「工事を先に実施して代金を払ってくれば高く売れます」と説明があるそうですが、これは信用できません。このような勧誘の電話には十分ご注意ください。

白笹何でも Q&A



Q 別荘を建築して20年以上経ち、建物の周囲や屋根の上まで、木の枝が茂ってしまいました。伐っておいた方がよいのでしょうか？また、建物に悪影響はあるのでしょうか？

A 屋根の上に枝が茂っていると、樹液等の影響で傷みが早くなります。また、風の強い時には、建物近くの木の枝が屋根や破風に当たり破損する恐れがありますので、なるべく伐っておいた方がよいと思います。

7月・8月・9月の那須高原の催し

7月	8月	9月
~10(火) くらぼね紫陽花まつり(大田原市・黒羽城址公園) 7(土)~8/26(日) 那須野が原の身近な虫たち(那須塩原市・那須野が原博物館) 8(日) 那須フェア(那須町・道の駅 友愛の森) 14(土)~ 22(日) 第2回ショートショートフィルムフェスティバル in 那須(那須町・南ヶ丘牧場ほか) 14(土)~9/2(日) ハンターマウンテン ゆりパーク(那須塩原市・ハンターマウンテン塩原) 20(金)~8/31(金) 那須温泉朝市(那須町・那須温泉神社境内) 31(火) 天竺祭・茅の輪くぐり(那須塩原市・黒磯神社)	3(金)・4(土) 与一まつり(大田市・中心部各商店街) 3(金)~20(月) リんどう湖花火大会(那須町・りんどう湖ファミリー牧場) 4(土) 那須野ふるさと花火大会(那須塩原市・那珂川河畔公園) 5(日) 那須高原へこまつり(那須町・那須町共同利用模範牧場) 16(木) 佐久山花火大会・灯籠流し(大田原市佐久山・帯川河川敷) 19(日) 芦野 聖天祭・花火大会(那須町芦野)	13(木) 乃木神社例大祭(那須塩原市・乃木神社) 15(土)~ 24(日) 秋山とし子 古布作品展(那須町・みちのく諸国郷土民芸館) 29(土)~11/4(日) 紅葉鑑賞ロープウェイ運行(那須町・MLジーンズスキー場) 30(日) 那須九尾まつり(那須町・余笹川ふれあい公園)

編集室より

最近、各地で「御当地検定」がブームになっていますが、いよいよ那須でも、第1回「那須検定」実施に向けて準備が始まりました。さる4月に地元在住の教授や陶芸家、ペンションオーナーなど有志11名が集まり那須検定準備委員会を設立、すでに関係各団体により検定の実施が承認されて、現在、委員会では参考問題集の作成に取りかかっています。試験問題は那須に関する地理や歴史、産業、方言、伝統芸能、郷土料理など、幅広いジャンルから出題され、得点数に応じて3級・2級・1級を設定する見込み。問題集用のサンプル問題を見てみると、「那須湯本温泉の別名は？…①狐の湯②狸の湯③熊の湯④鹿の湯」といった具合です。(正解は④。)第1回検定試験日は来年2月下旬の予定。これはちょうど世間一般の入学試験と同じ時期。今からなら時間はたっぷりあります。受験生だった頃の気分を蘇らせつつ、2月に向けて那須検定の勉強に励んでみてはいかがでしょうか？

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。

編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所



〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)

白笹だより

2007.7

No.105



旧青木家別邸とヒマワリ (道の駅 明治の森・黒磯/那須塩原市)

古くより那須野ヶ原は主要な街道近くに位置し、土地は比較的平坦で、地味も作物に適さないほど痩せているわけではありませんでした。それにもかかわらず、広大な那須野ヶ原の大部分は長いこと手つかずのまま放置され、いたずらに茅や篠が生い茂るばかりでした。源頼朝が建久4年(1193年)、この茫漠たる原野に関東の武士10万人を動員して巻狩りをおこなったことは、史書『吾妻鏡』にも記されています。江戸時代末期でさえ、黒羽藩・大田原藩の所領と徳川氏の直屬地が混在する生産性のない土地で、周辺村落の共同草刈場(入会萩場)となっていました。那須野ヶ原が開墾されずに長らく放置された最大かつ決定的な理由は、水の入手が困難だったためです。地下水は深く砂礫中に浸透し、25~30m掘り下げてようやく地下水面に達する程度でした。明治政府は開拓に力を注ぎ、官営事業として大がかりな水路網の建設を計画、明治18年には那須疎水が完成しました。また、それと並行して農場の開墾を奨励し、開拓を志す個人や結社に官有地を貸し下げました。(貸し下げた土地は開拓成功後払い下げ。)こうした開拓機運の高まりのなか、この地に農場を開いた政府高官のひとりが青木周蔵子爵です。那須野ヶ原には遠く長野や富山からも入植者がやって来ましたが、開墾はまず地中に埋まる石を掘り出すことから始められました。取り除いた石を積み上げた塚を「石ぐら」と言い、場所によってはこの石ぐらが、5反歩(約70m四方)の土地に53ヶ所もできたそうです。

板室街道の青木周辺はみずみずしい緑豊かな耕地や牧草場が広がり、まさに沃野というにふさわしい風景。荒涼寂寞としたかつての原野の面影はまったくありません。

白笹台の石井さんがお撮りになった旧青木家那須別邸とお花畑の写真は、昨年4月号の表紙でも掲載いたしましたが、その時はヒナゲシに彩られた6月の写真でした。今回はヒマワリが咲き誇る8月の写真。紙面がカラーになったので、お花畑と木立、そして別邸の見事な色のコントラストがお伝えできたと思います。石井さん、いつも素敵な作品ありがとうございます。

白笹掲示板

「下刈り」のご案内

今年も夏に向けて、ご希望者を対象に下刈りを実施いたします。下刈りご希望の方は「下刈り申込書」に署名捺印の上、料金（現金）を添えて7月15日（日）までに管理事務所にお申し込みください。なお、お申し込みいただいても、料金が添えられていないと地元業者への作業の発注ができませんのでご注意ください。（ご送金はかならず現金書留でお願いいたします。）

下草を茂ったままにしておくと、道路にはみ出して交通の妨げになったり、見通しが悪くなったりして大変危険です。また、茂みに隠れて水道のバルブが見つからなくなるなど、思わぬトラブルの原因ともなりかねません。下草が茂っている場合には、お早めに下刈りをされますようお願いいたします。

送迎バスの運行について

夏休み期間中の路線バス停留所までの送迎につきましては、昨年同様、今年もお客様からあらかじめご連絡をいただきました場合にのみ運行いたします。ご利用の際には、ご面倒でも当日14時45分までにご連絡をくださいますようお願いいたします。

○接続する東野交通路線バスは以下のとおりです

黒磯駅発 15:25 → 自然休養林入口 16:11 → ハイランドパーク着 16:20

ハイランドパーク発 16:30 → 自然休養林入口 16:37 → 黒磯駅着 17:25

別荘からご乗車される場合には、区画番号・ご所有者名をお伝えください。（16時10分までにご出発の準備をお願いいたします。）

エンジョイしています。別荘ライフ



餅原さんご家族

今回は横浜にお住まいの餅原さんのご登場です。5月下旬、ツツジの花が真っ盛りよく晴れた日、別荘にお邪魔をして原稿のお願いをしたところ、奥様は、奥様に早く引き受けてくださいました。ご夫婦の仲睦まじい様子、何年経っても変わらない「山の家」にお出かけになる時のウキウキした気分、拝読していただきありがとうございます。季節感にあふれ、幸福感もたっぷりの魅力的な文章、ありがとうございます。

山の家

20年前のあの日、黒磯観光開発の現地管理事務所、別荘販売中とある新聞広告を見て夫婦で来ました。突然大雨が来て道路が川のようになり、あわてて事務所にとび込んだのを覚えています。

私どもは3人の子供が夏休みになると、箱根や長野県の姫木平にある貸別荘を使っていました。その頃から、たとえ小さくても、吹き抜けのある別荘、自分達が自由に利用できる家を持ちたいと話してきました。

事務所のスタッフにさっそく案内された。白笹山の麓、白い壁の家に決めました。嬉しかった。ただ、出張の多い夫、不規則勤務の私、子供達の休みを調整すると、こちらへ来るのは夏休みと5月連休がメインとなります。夫婦だけで春のおとずれと共に入山する時は、必ず関越道を利用します。赤城高原で、横浜の次の花見ができる。このぜいたくの後、開通したばかりの金精道路を走ります。シャープベツト状の菅沼湖、湖面に雪女がヒョイと立ちそうです。日光方面よりまわり込み、那須街道に入る。早くも山里では春の農作業、田おこしが始まっています。白笹山はまるで白髪頭を思わせる姿。ここにはまだ春がとどいていない。そうそう、山に家を買った事を喜んでくれたのは両親でした。当地へ来るのを楽しみにして、ノコギリ、カマ、クマデ等、そろえていた。山の家をよく利用しました。父も母もここに来て、よく働きました。

ある時、私どもは思いつきで寒中やって来ました。水が出ない。温泉もダメ。管理事務所のスタッフが、ポリタンクに水を入れとどけてくれた事もありました。

夫婦で定年を迎え、山の家にも何時でも来る事ができる状況となりました。1ヶ月に1回、ぜいたくな時間が過ごせます。ここを基地とし、近くの観光地に出かけております。子供が各々独立した今、横浜の家でも2人、山の家でも2人です。「山に行こう」と夫が言うと、持参物をウキウキしながらそろえます。山の家をたずねる嬉しさ、この気持は今でも変わらない。山の家までの東北道から見える風景、入山してみる「白笹村」の木々の変化が何よりの楽しみです。

大きな自然の中につつまれて、1軒の小さな家がある。ここに、できるだけ自然を汚さずおいてもらっている気持ちを持ち続けたい。夫婦で今後、何回もつつがなくたずねて来る事ができるよう願っています。

今回は横浜にお住まいの餅原さんのご登場です。5月下旬、ツツジの花が真っ盛りよく晴れた日、別荘にお邪魔をして原稿のお願いをしたところ、奥様は、奥様に早く引き受けてくださいました。ご夫婦の仲睦まじい様子、何年経っても変わらない「山の家」にお出かけになる時のウキウキした気分、拝読していただきありがとうございます。季節感にあふれ、幸福感もたっぷりの魅力的な文章、ありがとうございます。

那須で見られる山野草⑥ イブキジャコウソウ(伊吹麝香草)

シソ科の小さな草状低木。細い茎はややつる性で地面を這い、絨毯のような群落を形成します。和名は、滋賀県の伊吹山に多く分布し、麝香のような芳香があることに由来。ヒャクリコウ（百里香）という別名もあり、これは、香りがまるで百里離れたところまで届きそうなほど強いことから。代表的なハーブのひとつ、「タイム」は一般にヨーロッパ原産のタチジャコウソウのことで、イブキジャコウソウはその近縁種で、茎の伸び方や地上部の高さは異なるものの、含有成分や香りは両者ともほぼ同じです。管理事務所前の広場の一角でも、毎年6月から7月にかけて、イブキジャコウソウが薄紫色の可憐な花を咲かせます。



おいしい場所 お教えします

レストラン バジルの葉

TEL 0287-76-1884

営業時間 10:00~19:00（夏期は21:00頃まで）年中無休



県道266号沿い、南ヶ丘牧場入口の「バジルの葉」は、おいしい洋食とリゾート地ならではの明るい雰囲気、気さくなオーナーご夫婦が魅力の、つつい立ち寄りたくなるお店。広々としたテラスは、高原の風を感じながらゆったりと食事を楽しむには打ってつけの場所です。

誰にでも好かれるオーナーの齋藤さんは、5年前、ご夫婦で念願のレストランを開店しました。那須の豊かな自然が大好きなあまり、お住まいも黒磯の街中から白笹近くの別荘地内に移してしまわれたほど。地元レジャー施設で長年支配人を務めていらっしゃっただけにたいへん顔が広く、また、世話好きで人望もあるため、お店にはおのずといろいろな人が集まって、食事かたがたオーナーとの談話を楽しんでいます。情報通としても知られ、忙しくない時間帯ねらえば、那須の旬の話題をいろいろと親切に教えてください。

スパゲッティは和風仕立ての「森のきのこ」(1,050円)や自家製ソースの「トマト」(1,155円)などオーソドックスなものから、卵と納豆という変わった組み合わせが人気の「オリジナル和風」(1,050円)、見た目も味も斬新なオムレツ風スパゲッティ「オムスパ」(1,155円)など、独創性に富んだものまで全部で7、8種類。どれも一度は食べてみたい、オーナーご夫婦の優しさや真心が感じられるメニューばかりです。ほかに、極上の黒毛和牛として有名な米沢牛のステーキもご賞味いただく価値あり。山形ご出身

のオーナーが知り合いに頼んで特別に取り寄せているというだけあって、値段は手頃ながらも味は絶品。また、牛タンステーキやローストビーフ、鴨ステーキなどのアラカルトは、お酒のおつまみにもぴったりです。

「白笹の皆様には開店当初よりご利用いただきありがとうございます。とくにこれからの季節、日没後は涼しくてとても気持ちのよい時間を過ごしていただけたと思います。どうぞお気軽にご来店の上お過ごしください」と齋藤さん。お食事ご注文の際に「『白笹だより』を見て来た」と言っただけならば、ソフトドリンクをサービスして下さるとのこと。一度お出かけになって、満足のできる料理、そしてオーナーとのお喋りを楽しませてみてはいかがでしょうか。

その他のオススメメニュー

- ハンパセット (ハンバーグ・目玉焼き・パスタ・サラダ) 1,365円
- サラダスパゲッティ 945円
- リゾット(トマト、クリーム) 各924円 (スパゲッティ、リゾットはすべてサラダ付き)

ほかにハンバーグやビーフシチューなどのライスセットも多数。「さくらんぼワイン」、「さくらんぼ漬け」などのおみやげ品もあり。